

令和8年(2026年)度 大津市立仰木中学校 学校経営管理全体計画（構想）

滋賀の教育大綱 基本目標

未来を拓く心豊かでたくましい人づくり
～「三方よし」で幸せ育む滋賀の教育～

- 柱1 子ども一人ひとりの個性を大切に、夢と生きる力を育む
柱2 多様化・複雑化する社会の状況を踏まえ、
子どもたちの学びの基盤を切れ目なく支えていく
柱3 社会全体を学びの当事者と捉え、
みんなで学びに関わるとともに、学びを支える

人が育ち 人が輝く 学校経営の推進

仰木中学校 教育目標

心豊かで主体的・意欲的に活動する生徒の育成
～生き生きとした明るい学校の創造～

第4期大津市教育振興基本計画

一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育

- 一人一人の可能性を引き出し、心豊かに生きる力を育む
確かな学びと可能性を引き出す教育の推進
社会に対応できる教育の推進
- すべての子どもが安心して学べる教育を推進する
学びを支える学校体制づくりの推進
きめ細やかな支援・相談体制の充実
- ともに学び支え合う社会の実現を目指す

求める学校像

- 笑顔あふれる安全で安心な学校
- 意欲を持って生活や学習ができる学校
- 地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）

本校の教職員の姿勢

- 生徒一人ひとりを大事にする教職員
- 授業を工夫し、生徒の可能性を引き出す教職員
- 社会の変化に対応し、学び続ける教職員
- 働き方を見つめ直し、生き生きと働く教職員
- 互いを敬う心を広げ、次世代につなぐ教職員
- 5Sの徹底（整理・整頓・清掃・清潔・躰）

めざす生徒像

- 「身につける」 確かな学力を身につけ、積極的に行動する生徒
- 「認め合う」 豊かな心を持ち、互いに認め合い励まし合う生徒
- 「やり抜く」 健やかな体を培い、たくましく、何事もやり抜く生徒

校内研究主題

「探究的な学びを通した
課題解決力の育成」

－PDCA サイクルを意識した授業改善－

学習指導

- 基礎・基本の定着と主体的な学習態度の醸成
- 主体的に判断し・行動し、よりよく問題解決する資質や能力の育成
- 協働的な学びの推進
- 主体的な学びを支援する評価の工夫
- 豊かな体験活動を通じた学習の深化
- 必修教科、総合的な学習の時間、道徳科、特別活動の相互補完を踏まえた指導
- 生命を尊ぶ精神を基盤とした道徳性の育成
- 自他の人権の実現と擁護のために必要な資質・能力の育成を目指した人権学習の充実
- グローバルなものの見方や考え方の育成
- 人間と環境との関わりの中で生じる様々な課題解決への実践力を培う
- 課題や目的に応じて情報を適切に活用し、判断、処理、発信できる力の育成
- 「食」に関する意識向上と食資源を大切にすることを育む
- 健康への関心を高め、主体的に健康の保持増進をめざす生徒の育成
- 自他の生命の尊重と、健康で安全な生活のための安全管理及び危機管理能力の育成
- 生徒一人ひとりの教育的ニーズの把握と適切な指導・支援
- 読書活動を通して、生き方や社会との関わりを考え、相手と響き合う豊かな心を育む
- 自らの生き方を考える系統的な進路学習

本年度の重点目標と具体的方策

キーワード 「つなぐ」

- 人と人をつなぐ…安心感と信頼関係を大切に 命と人権を守る
○気持ちのよい挨拶 ……いつでも、どこでも、場に応じて、気持ちが伝わる形で
○丁寧で正しい言葉遣い…クッション言葉を添えて、プラス発言（ポジティブワード）を
○心理的安全性の高い環境づくり…話しやすさ、助け合い、挑戦
多様性の尊重、相互承認の場の設定
○インターネットコミュニケーション…ルール・マナーの正しい理解と利活用（SNS等）
- 学びをつなぐ…知的好奇心の刺激
○「わかった」「できた」が実感できる授業づくり…ICT機器の効果的活用、授業のUD
○「めあて」「まとめ」「ふりかえり」と定期的・計画的な「見届け」による支援
○アウトプット活動の充実（読む・書く・聞く・論議・説明・まとめる・体験する・人に教える）
○学び方を学び、学び続ける力を育てる…自ら未来をひらく力を育てる
- 育ちをつなぐ…成長を促す指導 自立につながる支援
○保護者、関係機関、各校園との情報共有と連携
○個別の指導計画と教科指導をつなぐ
○一人ひとりに応じた指導・支援の実践
- 社会とつなぐ…つながり、支え合う地域共生社会の担い手に
○地域社会貢献活動の推奨…体験や経験の機会を増やし、自己有用感を高める
○コミュニティ・スクールのしくみを活かしたタテ・ヨコ・ななめをつなぐ連携・協働
○歴史・伝統を重んじる（仰木・大津・滋賀ならではの学びによる愛着と誇りの継承）
○仰木サミット（中学校区児童生徒連携）の定着と発展、活性化、地域との共助の取組
- 未来へつなぐ…今を大切に生き、今を積み重ねる
○社会の変化に柔軟かつたくましく対応し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育てるキャリア教育の実践
○卒業後の進路を自らの力で切り拓いていくための相談・指導・支援

生徒会のスローガン

桜梅桃李

～仲間と挑戦し、
笑顔輝く学校へ～

生徒指導

『生徒の自主・自律性を育てる
発展的な生徒指導の推進』

- 支え合い、高め合う集団づくり
（生徒会、学級会活動の活性化）
- 学習規律の確立と個々が生かされる授業の工夫
（生徒指導の3つの機能を生かした授業づくり）
- 生徒理解を深める教育相談活動の充実
- 基本的生活習慣と規律ある学校生活
（挨拶の習慣化）
- 問題行動の未然防止の取組
（あいさつ、校内見守り巡回、外部人材による情報モラル学習）
- 思いやりと信頼を基盤としたいのち・人権を守る生徒指導・生徒支援
- 関係機関との連携
- 学校園間の密な連携
- 組織的指導力の向上と迅速な初期対応
（研修の充実、学年間の協議・協力体制）
- 家庭・地域との連携
（定期・随時の家庭訪問・地域行事への参加）
- 学校安全対策の体制づくり
（危機管理意識の向上と徹底、交通安全・防犯・不審者対応）
- 全教育活動に根づいた生徒指導体制づくり
（生徒会活動、特別活動、道徳教育等との連携）

信頼関係を基盤とした生徒指導の充実

特別の教科 道徳

- 自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任を持つ生徒の育成
- 他の人々に対し思いやりの心を持つ生徒の育成
- 生きること喜びを見出す生徒の育成
- 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神を持つ生徒の育成

総合的な学習の時間【仰木 TIME】

- 協同的な探究活動を通した「生きる力」の育成
- 「気づき」・「知識」・「行動」の三つの要素を大切にする
- 「共生」の学習を深める（人との共生・自然との共生）
- 「生命」の学習を深める（自己理解・他者理解）
- ※全学年とも体験活動を積極的に取り入れる
- ※学習成果を発表・表現する場を設定する

特別活動

- 集団活動を通して個性を伸長させ、互いの人格を認め合う中で協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる
- 学校行事や学級活動等を通して、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う

【第1学年】

中学生としての基本的な生活習慣を身につけ、
主体的・意欲的に学習や諸活動に取り組む生徒を育成する

- 中学生としての自覚を持たせ、望ましい基本的な生活習慣の定着を図る
- 自らの課題を見つけ、何事にも主体的・意欲的に取り組ませる
- 自分の役割を自覚し、最後まで責任を持って実行する
- 一人ひとりのよさを認め、互いに支え励まし合う集団を育成する

【第2学年】

中堅学年としての自覚を持たせ、豊かな中学校生活の確立を
目指し、その推進力となる態度を育てる

- 学習の基礎的・基本的な力をつけ、様々な方法で意欲的に学習する態度を育てる
- 互いの人格を尊重し、協力し合い、自ら責任を果たす生徒を育てる
- 積極的に行事に参加し、ねばり強く最後まで取り組む態度を育てる

【第3学年】

最上級生としての自覚を持ち、自ら考え、判断し、主体的に生活
できる生徒を育成する

- 学習習慣の定着を図り、学習や諸活動に主体的・意欲的に取り組む態度を育成する
- 互いの人格を尊重し、協力し、高め合える集団を育成する
- より深く自己を理解し、生き方を考え、自己に適した進路を決定し、その実現に向けて努力させる

生徒の実態

- 落ちついた雰囲気の中で学習や学校行事、部活動等に励んでいる。
- 集団の中で切磋琢磨する気風がある一方で、人との関係においては、自分に甘く、人にきびしい一面もある。
- 与えられたことは真面目に取り組むことができるが、自ら考え進んで行動したり、新しいものを創り出したりする力が弱い。
- 型にはまっており、自己肯定感が低い傾向にある。

家庭・地域の実態

- 農村的特色を残し、歴史と伝統をもつ「仰木学区」と、宅地開発により生まれた“個性豊かなまちづくり”を推進する「仰木の里学区」の2つの地域から成る。
- 保幼小中高大と多くの学校園がある学園地域である。
- 保護者の考え方や価値観は多様であり、保護者の教育に対する関心は高く、我が子への期待も大きい。また、学校に対しても、学力定着及び向上に関する期待が大きい。